

# ほんごう

国立富山工業高等専門学校同窓会会報

No. 2 1998年(平成10年)10月発行  
 〒939-8630 富山市本郷町13番地  
 国立富山工業高等専門学校同窓会  
 発行責任者 石山 彰 雄  
 印刷 / 株式会社 宮越印刷

## 高専制度の行方

会長 石山 彰 雄

今、教育制度は大きく変貌することを余儀なくされている。

高学歴化、少子化、個性化、多様化のなかで高専制度も例外ではない。学校教育法上の高等教育機関であるという認識を広く社会一般の人々にまず解ってもらうことが先決と思う。

一般的認識は高専高校であり、いわゆる専門学校と同列視されている。大学の専門課程以上のカリキュラムをこなして実践的授業に自負と自信をもった学生た

ちに社会的評価をも伴ったものでなければ制度の発展は有り得ない。

21世紀における高専の在り方に関する「調査研究会」を文部省が設置し、検討を始めた。(裏面の新聞記事を参照)

ヒューマンネットワーク高専においても、6月20日の総会開催時に高専制度につき論議した。その叩き台(私見)を裏面に掲載したので御意見をお寄せ下さい。

必ずこられまあー

**平成10年度総会開催 11月3日 文化の日**  
 午後 5:00~7:00

場所 / 富山県民会館(富山県庁・NHK富山・富山市役所となり) 8F キャッスル

会費 / ￥5,000

詳しくは富山高専(0764-93-5474) 佐藤先生

恩師の先生方にも御案内しています。

FAX (0764-92-3859)

退官教官では、尾崎秀男、宮本一郎、石崎喜一、清田秀博、石川克、各先生方が出席されます。

E-mail: sato@toyama-nct.ac.jp

例年好評の学生によるアトラクションも予定。



平成9年度 富山工業高等専門学校同窓会総会

多数の参加をお待ちしています。

# 21世紀の高専目指し 文部省が調査研究会

## 設置基準改正へ

### 大学との単位互換など検討

文部省は高等専門学校(高専)の今後の在り方を研究するため、来週にも高専、技術科学大学、大学工学部の関係者や産業界の有識者による調査研究会を設置する。二十一世紀の産業社会が必要とする創造的かつ実践的な技術者の育成に向け、学校教育制度での高専の位置付けを明確にするとともに、教員選考や専攻科設置の在り方、大学との単位互換など高専が抱える多くの課題について検討する。今年九月をめどに報告をまとめ、高専設置基準の改正を目指す。

に出している。

モノづくり重視の実践的教育が製造業を中心に支持され、不況下でも高い就職率を維持しているが、最近は大卒三年次への編入者が増え、卒業生の二十数%が大学に進学。その一方で大学は入学の多様化・大学院重点化などで、学部教育の専門性が薄れつつあり、高専―大学の接続の在り方が問われている。

高専は「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を養成する」ことを目的として六二年に五年一貫の専門職業教育を行う高等教育機関として設置された。現在、全国で国公私立合わせて六十二校あり、これまでに卒業生約二十六万人、(うち女性一万人強)を送り出している。

①について研究する。入試については、入学時には学科を指定せず、三年生くらいから学科に分ける「くくり入学」などを検討する。また、接続に関しては、①高専への専攻科の設置(現在十二校)を推進すること、専門性をより高める高専からの、接続大学として設置された長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学の大学院重点化を進めるなどして接続パイプを太くする②大学との単位互換などを検討するものもあろう。

また、大学でのモノづくり教育がなくなりつつある中で、高専での実践的技術教育は、わが国が技術立国を目指すうえで不可欠な

日本工業新聞一九九八年六月九日

## 高等専門学校「高専」制度について

1958年に「専科大学法案」として構想されていた高等教育機関の設置に関する法律は、短大との軋轢、そして経済・産業界からの「中堅技術者の養成」という要望により「高専法案」(1961年)として、明らかに高等教育機関の体裁が後退したものとなった。

今、その結果が高専制度の現状を投影しているように思われてならない。

入学競争倍率の低下に伴う学力低下。高等教育機関として認識されていないための高専制度への無理解。

中堅技術者養成などという狙いでは高学歴社会では目を向けられない。専門学校か工業高等学校かと間違われる高等専門学校という名称の不適当さ。等々、外観的に見ても改善すべき点は至る所に散見される。

これらの諸問題について高専卒業生が意見表明しないとするならば、高専O.B.としての責任放棄と言われても仕方がないであろう。

だから、声を大にして、全卒業生が一致(高専同窓会連合会構想)して問題提起すべき義務があると考え。

では、どうするのか。

大前提としての技術立国日本のなかにおける高専制度とは(図1)

本年6月20日ヒューマンネットワーク高専の総会において高専制度につき検討した時のたたき台です。意見をお寄せ下さい。

(図1)

技術立国日本
工業系のみにおける高専制度 文化系高専制度は不要
超一流の技術者を養成するための 5年間一貫教育
競争倍率の向上による学力の向上
学校教育法上の高等教育機関である ことが鮮明にわかる名称への変更
例えば、中学校卒業後、3年間は高 専大学高等部として修了試験を課す
高専卒業後の大学編入は邪道であり、 専攻科の推進もしくはインターンシ ップ制などの導入により進学は大学院 として考える
長岡・豊橋の両技術科学大学は大学 院として改編する

## '97 ロボコン高専部門

東海・北陸地区大会 1997年10月26日(日)

富山市体育文化センターで開催されました。小雨の降る肌寒い日でしたが会場の中は熱気でむんむん“花開蝶来”きれいなテーマ。マシンの硬いイメージがその動きと会場のディスプレイの華やかさにマッチできるかがそのまま勝負の結果になったように思えました。もちろん基本性能がしっかり出来ている前提があつてですが…。

今年はどうなっているかなあ 会報が発行される頃には今年の子選は終わっています。



## 前同窓会長からのお便り

若い頃には、自分が中年のオジサンになるとは考えもしなかったのですが、最近では鏡の前の自分が、髪も白く薄く、口ひげまでも白くなったのを見てつくづく50歳の体かなと感じる今日この頃です。

そして、世界不況とまでいわれる厳しい環境の中で、この年になった今でも新しいビジネスに体当たりで打込んでいます。

高専を卒業してサラリーマン生活10年あまりの後、自らの会社を設立して約20年間、小説を地で行く“七転八起”の波乱万丈の人生を続けています。

(死ぬまでに自叙伝を書いてみたい…)

日本では、いくら失敗しても命まで失う事はありません。皆様も無限の可能性へ向かって挑戦されてみてはいかがでしょうか。

銀行さえも窮地に立たされる厳しい時代ですが、アイデアと努力と人間性(これはとても大事です)があればなんとか事業はやって行けるものです。

現在、私は(株)ふすまやという会社を経営しており、リフォーム、リサイクル事業を中心に運営しております。(これは宣伝ですが…)住宅事業に関しては、まだ未熟なところもある私ですが、いい仕事をする事にかけては自信があります。どうぞお気軽にご相談くださいませ。前同窓会長 高島 武 ☎0766-57-0707

## 東京の電気工学科卒業生の集い開催!!

(電友会) 1998年2月7日(出)

東京都千代田区、日立ビルシステム神田クラブにて、写真のとおり総勢43名の出席で盛大に開催。

自己P.Rではそれぞれの仕事と製品を大々的に宣伝、お互いに認識を深めながら懇親した。

同窓会としては、関東支部結成を目論んで檄を飛ばしに参加したが、反応はひややかでがっかり。

同窓会が、何をしてくれるかではなく、同窓会にどう参加できるか、富山高専にどう協力できるか考えて欲しい。本年も檄を飛ばしに参加する予定。

とりあえず来年の開催日は下記のとおりで場所等は未定。

平成11年2月6日(出)

担当者 山崎 正 男 (E11)

☎03-5349-7138

E-mail: masao.yamazaki@tko.dec.com



## 富山高専事務部からのお願い

## —— 公開講座募集 ——

昨今、高等教育を取り巻く環境の変化に対応するため、本校においてもカリキュラムの見直し等様々な改革に取り組んでおりますが、一方で高等教育機関の生涯学習機能の強化促進が叫ばれております。

「富山高専の発展は卒業された皆さんの後押しがあつてこそ」との思いから、本校を卒業された皆さんにとって、身近な母校として気軽に利用できるように企画を考えていきたいと思っております。

つきましては、飛躍的な技術革新や急速な経済環境等の変化に対応するため、生涯学習として「こんな講座を開いて欲しい」といった要望がありましたら庶務課庶務係までご一報ください。

E-mail: Shomuka@toyama-nct.ac.jp/



# 同窓会からの連絡

## ★ 平成10年度富山高専同窓会事業計画

自平成10年4月1日  
至平成11年3月31日

同窓会総会、定時理事会の更なる活性化に向けて積極的な活動を通し同窓会への参加意欲の高揚を目指す。又、教育後援会及び学校側と共に富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

そして、全国高専同窓生が集える同窓会連合組織の結成に向け尽力する。

### 具体的事業

- ① 同窓会総会・定時理事会の更なる活性化  
会員・理事等へきめの細かい出席要請を行う。  
総会案内に出席予定の教官名を記載する。  
次年度は同窓会創設30周年となるので更なる活性化に向け検討する。
- ② 支部の組織作り  
「電友会」を関東支部の中核として、支部作り出来る体制を検討する。  
会社ごとの支部作りも検討する。  
その他の支部作りも同様に検討する。
- ③ 会誌の充実を図る  
正会員、特別会員等から原稿を募る。  
会員以外にも積極的に原稿依頼を行う。
- ④ 在校生・学生会への積極的助成  
在校生に活気を与える積極的な助成を考慮してゆく。
- ⑤ 教育後援会、学校側との定期的交流会の開催  
昨年、実現できなかったが、本年度は開催し、学校運営に寄与する。
- ⑥ 慶弔規程の検討
- ⑦ 全国組織への積極的参加  
「ヒューマンネットワーク高専」を土台として、全国高専同窓会連合会の結成に向け支援する。



- ◎ 富山高専ホームページアドレス  
<http://www.toyama-nct.ac.jp>
- ◎ 富山高専同窓会ホームページアドレス  
<http://www.toyama-nct.ac.jp/OB-OG/index.html>
- ◎ 「ヒューマンネットワーク高専」ホームページアドレス  
<http://www.hnk.or.jp/>  
E-mail: [miyahnk@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:miyahnk@cocoa.ocn.ne.jp)

## ◎ 10月～11月行事予定

同窓会関連事業です。多数の参加をお願いします。

- 10月10日(土) 吹奏楽部定期演奏会
- 10月24日(土) 仮装行列
- 10月25日(日) アイデア対決・ロボットコンテスト  
ロボコン東海・北陸地区大会

場所 鳥羽市民体育館

- 10月30日 ) 志峰祭
- ～11月1日 )



- 11月3日(火) 文化の日 富山高専同窓会総会  
時間 PM 5:00～  
場所 県民会館8Fキャッスル

◎ 平成7年度に同窓会名簿を発行しましたが、次回平成12年度発行に向けて、移動等がありましたら同窓会へお知らせいただければ幸いです。下記の様式を参考にデータを記入してください。

### 異動通知連絡カード〔同窓会名簿用〕

※どちらか○で囲んで下さい 平成 年 月 日

① 本人の訂正・異動通知	掲載頁
② 知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁 行目
*②の場合連絡者名	卒年
卒年	*記入不要 ( )
フリガナ (姓)	(旧姓) (名)
氏名	( )
〒	
現住所	市外局番 市内局番 番号 ☎ ( )
勤務先 (在校名)	市外局番 市内局番 番号 ☎ ( )
○富山県内在住者は県名を省略 注 ○[1丁目2番3号]は「1-2-3」のように ○自営の方は社名・店名を記入 意 ○学生は親元の住所・在校名を記入	
備考	電子メール・アドレスお持ちでしたら ご記入いただければありがたいです。